

会計報告

(38年10月1日から39年9月30日まで)

収入

(単位円)

38年	10. 1	前年度繰り越し	1 2 3, 1 6 4
	10.12	銀行預金利息	3, 8 8 0
39年	3.15	銀行預金利息	4 7 2
	5.20	39年卒業生同窓会費 及び利息	2 2 7, 2 4 3
	7.30	修羅会より返還	2 0 6, 7 5 6
合計			5 6 1, 5 1 5

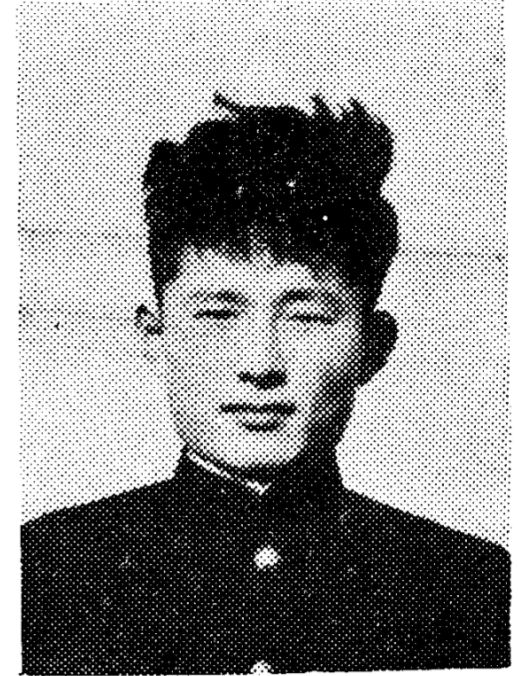
支出

38年	9.22 ~ 10.16	同窓会報発行費	1 2, 1 8 5
		名簿及び会報郵送費	7 4, 5 2 0
39年	4.18	生物部に貸し付	1 0, 0 0 0
	5.28	事務手数料	1 0, 0 0 0
	6.28	同窓会委員会召集費	9 1 5
合計			1 0 7, 6 2 0
残高			4 5 3, 8 9 5

(会計 丸山鶴代)

同窓会報

発行所
都立大学附属高校同窓会
東京都目黒区会町591
発行人 木村 成道
編集責任者 水谷 四郎



私の抱負

同窓会委員長 木村成道(13期)

私は今度同窓会の委員長になりました。五月の初めに現在の委員長の井上さん(12期)はクラブその他で多忙でいらしたから同窓会の仕事が十分にできないから君が代ってやってもいいかというのでした。私は今迄自治会等の仕事をやってきたわけではなかったので全然自信がありませんでしたが、皆さんに協力していただくという条件で承諾した次第です。さて私が思うに現在の都高の同窓会は小規模すぎて十分に活動できないのではないかとこの問題があります。確かに都高の先輩諸君がクラブなどで現役の人達のためにいろいろと努力はしていますが、これは実証されていますが、これら諸活動をさらに有意義なものにまで向上させることができているのが同窓会であり、私達の

私達が現在取組んでいるものに補習の問題がありますが、このような形式のものは今迄にも何回となく先輩の好意というで行われたこともありました。けれども満足な結果を得られずに散発に終わったようです。こんなところに補習の問題がいつまでも目の上のコブになっていくようなところがあるのではないのでしょうか。そこで私達同窓会は、13期を中心に夏期休暇の後半20日~26日にかけて同窓会主催という事で現役・先生方にも了承を得て大規模に学習会を開催してみたい。この結果によって進む方向を決めようと思っております。

この計画は初め「OBと現役との交流」という点から出発し読書会形式というところから始まったのですが、受験の問題、及び現役を確保するために学習を見逃すことができません。先ずこの学習会開催となつたわけですね。ここで早く結論を出すのは控えなければなりません。少くともいままで補習に對して抱いてきたものや、がもや／＼でなかなるであろうことは考えられます。また新たな問題として私達自身の肉体的時間的負担という問題も起ってくると思えます。それはとにかくこのように低迷している状態から新しい観念に立つための

校長先生に聞く

七月二十五日、校長室に校長先生をお訪ねした。先生はなごやかな雰囲気の中に、現在の学校教育全般、自治会活動、同窓会に對して次のような考えを述べられた。(会見者 13期森田、水谷)

先生の教育における基本的態度は？

本校の特色である生徒の自主的な成長を促すという面を生かしていきたい。現在の小・中学校でのO×式の教育による害を全面的に再検討してゆく必要があると思う。

現在の本校の状態をどう考えるか？

生徒が自主的に勉強をほりさげ、実力をつけるというあり方が少し少なくなっていると思う。しかし大学入試のためには反対である。

その自主性の確立のためには？

本校の自治会活動に對しての御意見は？

自分達で処理できることを

同窓会総会のお知らせ

今年も、秋の涼風と共に記念祭がやってきました。期日は十月十六・十七・十八日です。クラス増、予算不足等々の問題をかかえて現役の諸君は連日悪戦苦闘を展開していただきます。そしてまた記念祭当日に彼等の努力の結晶が示されるのです。後輩の努力に注目しようではありませんか。思ってもみなかった友人にポンと肩をたたくられるかもしれせん。あの人が想像以上の美人になっていないかしれません。ともかく都立へ行ってみようではありませんか。パパ、ママになられた方は、御家族連れで、まだ一人の方

会員異動

- 八B 松田節子・千葉真由・町・放射線医学研究所 阿部研究室気付
- 八A 木村(川又)みち子・北九州市へ移転、住所不詳
- 八A 久々宮(高橋)幸枝・結婚により改姓・移転
- 八B 北九州市若松区原町11原町四〇三
- 八B 小川(浅井)雅子・結婚により改姓・移転
- 八B 横浜市港北区篠原町二六七一電48一二四五二
- 八B 長谷部(遠山)順子・結婚により改姓・移転
- 八B 横浜市港北区篠原町二四二三

新企画による発行にあたって

今年の六月から、同窓会の仕事が13期に受けつがれ、執行部に書記局が設けられました。この同窓会報は毎年十月に発行され、これが会員相互の唯一の連絡手段であり、同窓会の活動もこの新聞を中心に進められている状態なのでその意味でこの会報は非常に重要性をもつております。

過去六回ほど発行されてきましたが、僕達の手元には第六号しかなく、以前にどのような内容をもった会報が発行されたか不明です。やはり高校をでて、大学生活を送っている、それなりの忙しさにまぎれ、充分な情報・資料収集ができないことが大きな理由です。けれどもまた、同窓会報が、単なる事務上の伝達手段としてしか用いられ

今回は、同窓会執行部の大層な協力があり、また、学習会の報告、山小屋の問題、同窓会費の問題等さまざまな懸案が山積しています。

記

一、日時 十月十八日(日) 午後六時半より

二、場所 都立大学講堂

三、議題 委員長挨拶 会計報告 その他

今後は書記局では、従来の一年一回の発行を、年二回或いは日刊にするとかの種々のこの会報を充実したものにすべき改善を試みた所存でございます。書記局と云うのがかめしいのですが、実際は何のことはない、皆様と同じく都高の同窓生で、当り前の(もしくはそれ以下の)人間がやっているもので、本来なら書記局がやるのでなく、同窓生間で「代りばんこ」にやったり、その他色々な方法がある筈です。もし皆様が本当にこの会報を利用されるなら、それが必然の形でありましょう。

意見などをこの紙上に載せられるなら、きつと多くの諸兄からの反響があることではあらず、とにかく何かあったらすぐこの同窓会報が頭に浮かんでくるように練習しておいて下さい。

尚、皆様の情報・資料提供・新聞作成活動への積極的な参加をお願いします。



三年生が卒業 近くなるとそのH・Rでは

「一・二年生に望む事」等という討論が行われ始める。当人達は、自分達が活動している頃には出来なかつた様な、都立のためになる立派な意見を、驚くべき熱意をもって提出させて後に残る一・二年生を当惑させるのである。ところが、こういう意見の裏には、自分達はよく出来なやつだけれども、せめて君達だけはそんな事にならない様にやってくれ、という意味が含まれているのである。そしてこういふ人達が家に帰ると、両親から「俺は駄目だ。だからせめてお前だけには立派な人間になって貰いたいんだ」「どうさんはもうこれで終っちゃうけれど、お前がそんなになっちゃうやいないな」と思っている。等という御託を並べられて「等」といふ御託を並べられては、そのまた可なる事を学びとるのである。要するに上級生は既に後輩に影響を与えて来てしまっている。今さら後輩達を自分の思う様な方向に向けさせようとするのが無理な話なのである。この事は在校生に對してだけでなく、我々同窓生にも言える事ではあるまいか。勿論在校生と同窓生との交流が不活発な現在ではその心配もあるまいが、もともと同窓会が在校生と盛んな交流をも目指すべきものであるとしたら、この事は不誠実な会員だけが疎かに出来る問題である。我々同窓生の行動は、後輩にとってその指針ともなり得るのだから。

学習会の総括

森田尚人 (13期)

一、二年を対象にした「学習会」を都立で行った。八月二〇日、二六日の七日間、英・数・国の三科目を中心とし、その他話し合いなどを含めた形にした。卒業生と現役生徒との交流に最も重点をおく。講師は13期一七名、14期二名の計一九名。同窓会主催としては、今回が初めてだったのだ。講師料は一切無償にした。

将来変化していく「補習」になっていくか、それとも都立の教育に「好ましい」何かを付加することになるか、この学習会は非常に振幅の大きな問題であると思う。またその結果の予測が困難で、かなりの期間をおいてからでないと正当な判断のし難い問題でもある。それ故、性急な評価は極力さけて、いくつかの問題点を指摘するにとどめる。詳細は「総括」をみてほしい。

最も大きい問題は、卒業生を都立の中にどのように位置づけるかということだ。これには、もちろん教師の仕事に口出しすることではない。しかし、自治活動や記念祭において、クラス段階での積み上げがあってもよいのではないか。「あんまりクラスがまとまっていけないので記念祭なんかどうでもいいやと考えていたが、OB・OGの皆さんのお話を聞いて考え直しました。」(二年女)

「この学校に入學して四ヵ月位たったこの学校がイヤになつていた時、学習会に出たみたら、何となく、学校に關しての気持ちが明るくなつたみたい。一生懸命教えてくれる先輩の方達にあつてみたら、学校に反発するばかりだった自分の考え方が自然に変わってきたような気がする。」(二年女)

後に引用したアンケートの回答は、OB・OGの必要性を示唆しているように思える。一、二年合計した申込者数は二七四名(六七二名中)。一日目の出席者は一六六名、最終日は八二名であった。最後まで残った人には非常に好評だった(今度の春休みに学習会を希望するかの間に賛成87%、反対2%、保留11%)のと対照的に半数がやめていった。九月初めにアンケートをとってこの関係を明らかにしたい。ぼくらは、できるだけ多数の生徒と、最後までやりたいと考えている。それをいかに実現するかが才二の問題である。

才三に、講師の役割は直接生徒の実力を向上させることではないと思う。勉強への態度・自治活動やクラブ活動の認識・受験や大学についての正しい考え方や、自分の経験をもとにして伝え、また復習中心のカリキュラムによって生徒の欠陥を補ってやる、それらが結局実力を養うことになるであろう。

それらを具体的にどのようにな方法で行うか。しかもできるだけ多数の生徒と。「補習」と異なる方法を方法の上からも裏づけねばならない。(一)OB・OGの必要性

をほくろも認識できたこと、(二)今後続けて開催していく可能性を作ったこと。この二点が、今回の学習会の成果といえよう。

この学習会が都立をマイナスの方向に動かしているという事実、今のところない。今後、これを続ける中で、成果のあるものにしてゆきたいと思う。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

都大附高 教員異動 新任紹介 野村精一先生(35) 国語科 葛飾商業から 東大卒

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

さて、私は、この度同窓会(本校への愛情と、あの自治と自の顧問になりました。同窓生(由を基調として組織すべきも数を調べてみました。今年、のだと考えます。当面次のような仕事をしたいだけ揃えば、何かをやる。一、縦の組織の確立とその仕。二、横の組織の確立とその仕。三、親睦のための仕事。四、同窓会の紹介や、珍らしい経験談などの紹介。五、集みや会報などで、立つことと、母校へ何らかの。

同窓会の発展を目指して 同窓会顧問 齋正子

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

山の寮を作りましょう

13期 榎本卯女

七月初旬、私達13期の者数名が学習会の事を話し合っていた時、その中から「学校の山の寮が必要だ」という意見が生れました。まだ段階としてはごく低いものですが、動機など簡単にではあります。が説明し、この運動が大きくなることを望みます。

まず提案理由ですが、これは初めに述べたように、今度の学習会の理念と非常に密接な関係があります。受けた側の一、二年生のアンケートに見られたように、この学習会を通して、OBと現役の間、一つの流れがスムーズに流れ出した、そんな風な事を強く感じました。ここ数年いわれ

ているようなOBとの溝、不信感がいくからでもなく、なり、記念祭やクラブのことな

ては、私達は、この度同窓会(本校への愛情と、あの自治と自の顧問になりました。同窓生(由を基調として組織すべきも数を調べてみました。今年、のだと考えます。当面次のような仕事をしたいだけ揃えば、何かをやる。一、縦の組織の確立とその仕。二、横の組織の確立とその仕。三、親睦のための仕事。四、同窓会の紹介や、珍らしい経験談などの紹介。五、集みや会報などで、立つことと、母校へ何らかの。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

編集後記

四面の新聞を出すつもりで夏休み中から準備してききました。当初編集スタッフは異常な熱意に燃え、同窓生と先生方に原稿を御願ひして、特集記事を企画しました。しかし試験に追われ、原稿の集まりがわるく、秋風が吹きはじめるとともに、あの真夏のギラギラした情熱はさわやかな涼風にとつかわり、ついに二面の新聞発行となりました。しかし、春には、充分準備して特集記事のせるつもりです。御協力下さい。

今回は、13期が中心の記事になってしまいましたが、もっと幅広い問題を取扱ってきたいと思っております。原稿を寄せて下さった方々、直接間接に援助、協力をして下さった人々に感謝の意を表したいと思っております。特に、印刷において物心両面にわたる協力を下さったマルト印刷工業経営の中山頼明氏(6期)、試験中にもかかわらず、驚異的にハッスルしてくれた好漢山本雅臣君(13期)には、感謝以上のものを感じざるを得ません。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

同窓生のみならず、御元氣(寄与することではないかと)を考えました。都立高校の卒業生は、母校に深い愛着をもっています。鉄筋校舎がたちました。先生、大学へ入學しても、ひまさえも三五人になりました。松岡、あれは高校に集ってきます。鈴木三、三浦先生はお年でも、まるで心の故郷と考えている。められた先生方は、すべて大ハの空気がまた流れていきます。学へ栄転されました。昔の先ハ、そういう中で育った高校時代の生方は、お変わりなくそのまハ、利己のまざらない純粋な折につれて、学校へお立寄り、うものは、その純粋さと、母下さい。同窓生のためと、部屋を留意したいと考、えていきます。お待ちしています。

才16回 記念祭プログラム

Table with columns for dates (16日, 17日, 18日) and times (8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9.30), listing various events like 2D, 1A, 3B, 2E, 1A, 2C, ESS, 2B, 3C, 2F, 1D, 音智, 定時制, フェア, 閉会式, 同窓会総会.